

LIBRARIAN NEWSLETTER

May 2016

Springer Nature の出版物およびサービスより、
Nature 関連トピックをご紹介します。

CONTENTS

パルグレーブ・マクミランジャーナル
SpringerLink 移行のお知らせ



Nature 著者インタビュー



Nature Supplement のご紹介



Scientific Data 編集長来日レポート：
Scientific Data ロードショー講演
ツアーを振り返って



Nature Microbiology 著者インタビュー



Nature ダイジェストを研究室で
購読してみませんか？



Nature Energy おすすめコンテンツ



スポットライト：
Palgrave Macmillan 電子ブック
シュプリングラー・イーブックス
統合のお知らせ

プラットフォーム統一のお知らせ

パルグレーブ・マクミランジャーナル SpringerLink 移行のお知らせ

現在 palgrave-journals.com 上でご提供中のジャーナルコンテンツは、今後 SpringerLink 上でアクセスいただけるようになります。この変更はパルグレーブ・マクミランのジャーナルと電子ブックが、シュプリングラーのジャーナルと同一のプラットフォームに統合されたことによります。弊社はこのプラットフォーム統一により、図書館管理機能を一層強化し、ユーザーの皆さまのご利用環境向上を目指します。

- 2016年6月1日よりパルグレーブ・マクミランのジャーナル コンテンツは、SpringerLink 上に移行を開始します。

- よくある質問とその回答をまとめた資料は以下の URL よりご覧ください。

www.springer.jp/librarian/files/PalgraveJournal_FAQ.pdf

- 例外としてユニークな機能を持つ *International Abstracts in Operations Research (IAOR)* およびオープンアクセス誌の *Palgrave Communications* は、しばらくの間 Palgrave-journals.com でのご提供を継続し、このたびのプラットフォーム移行には含まれませんので、ご注意ください。

その他のすべてのパルグレーブ・マクミラン ジャーナルは SpringerLink に移行します。

- 現在のサイトライセンスアクセス権は自動的に SpringerLink へ移行され、途切れることなく引き続きジャーナルのご利用がいただけます。

- 既に SpringerLink の管理者アカウントをお持ちの購読機関では、自動的にこの変更が既存の SpringerLink 管理者アカウントに反映されます。

- 現在 SpringerLink の管理者アカウントをお持ちではないお客様には、新規アカウントをご用意いたします。ご購入ジャーナルのプラットフォーム移行と同時に、SpringerLink のアクティベーションに必要な E メールがお客様の元へ送信されます。このメールは Palgrave-journals.com に登録いただいているメールアドレスに送付され、新しい管理者アカウントのパスワードの作成方法等をご案内いたします。パルグレーブ・マクミランのジャーナルをご購読中の皆さまは、「onlineservice@springernature.com」からの重要なお知らせに、どうぞご注意ください。

- 個人購読においても、プラットフォームおよびマイアカウントの SpringerLink 移行が行われ、ご購入者に直接お知らせが配信されます。

2016年6月6日以降に管理者アカウントへのアクセスができない場合は、以下までお知らせください。

Online Services support desk (English only)

onlineservice@springernature.com

Springer Nature カスタマーサービス部 (日本語対応)

support@springer.jp

その他、SpringerLink では日本語でのサポート情報をご用意しております。どうぞご活用ください。

www.springer.jp/librarian/support

今後も弊社ジャーナル購読をご継続のほど、何卒よろしくごお願い申し上げます。



水から高効率で 酸素と電子を生む 鉄触媒

岡村 将也

総合研究大学院大学
構造分子科学専攻 博士課程3年
(現 名古屋大学大学院理学研究科 特任助教)

www.natureasia.com/ja-jp/nature/interview/contents/14

地球温暖化やエネルギー問題を背景に、太陽の光エネルギーを化学エネルギーへと変換する人工光合成技術の開発が注目を集めており、その1つに「水を酸化して酸素、プロトン、電子を得る反応」があります。このような中、分子科学研究所、正岡重行グループは高い効率で酸素を発生させる鉄触媒を作り、*Nature*に報告しました。筆頭著者である総研大博士課程3年の岡村将也さん（2016年4月より名古屋大学特任助教）に掲載までの経緯をお伺いしたインタビューは、上記URLで無料公開中です。



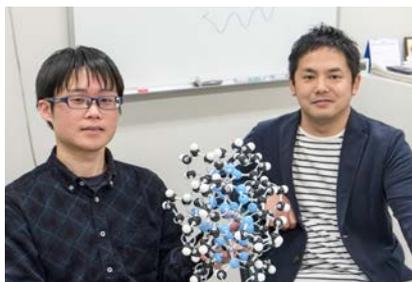
Natureに掲載された岡村氏の論文

水の酸化を目的として設計された五核鉄触媒

A pentanuclear iron catalyst designed for water oxidation

Nature 530, 465–468 (25 Feb 2016) | doi:10.1038/nature16529

www.nature.com/nature/journal/v530/n7591/full/nature16529.html



正岡 重行 (写真右)

自然科学研究機構
分子科学研究所 准教授
総合研究大学院大学
構造分子科学専攻 准教授

指導教官 正岡 重行氏 インタビュー

物質固定の原理原則を解明し、新たな研究領域を切り開きたい

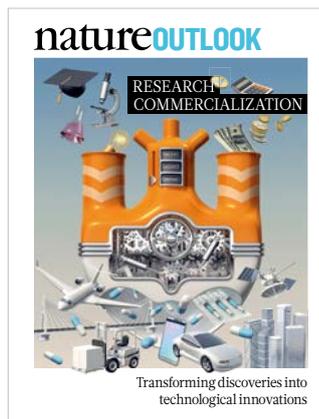
総合研究大学院大学の正岡重行准教授らの研究グループは、「植物に学ぶ触媒デザイン」という戦略と、実用化を見据えた鉄という金属の選択で、新素材の可能性を切り開き、極めて高効率な水の酸化触媒開発に成功しました。*Nature*掲載論文の筆頭著者、岡村将也氏を指導された正岡准教授に、今後の研究目標や研究スタッフとの接し方について、お話をうかがいました。このインタビューは、以下のウェブサイトで公開中です。

www.natureasia.com/ja-jp/nature/interview/contents/14

Nature の Supplement を活用しよう!**ご存知ですか? natureOUTLOOK natureINSIGHT**

印刷版の *Nature* で綴じ込み付録としてご提供している Insight、Outlook 等の特集をご存知でしょうか。これらのコンテンツはオンライン版でも Supplements として、Nature.com で配信されており、一部のコンテンツは無料公開されています。

年に 7~8 回掲載される *Nature* の綴じ込み特集は、各分野の第一人者によって編集され、現代科学の重要なテーマを幅広い視点から解説します。多数頁及び内容は充実しており、各分野の情報を的確に把握できると *Nature* 購読者からも付録を超えたコンテンツとして大変好評を得ています。今回はその中からライブラリアンの皆様に関連した、Supplements (無料公開) をご紹介いたします。

**研究の商業化**

Nature Vol. 533, No. 7601 (2016年5月5日号)

大学は、研究費用に見合う価値をさらに生み出すことを迫られており、企業は、ビジネスを維持するための次の製品を模索する競争にさらされており、また、各国の政府は自国の経済を成長させたいと考えている。この3者は、それぞれ独自の目標や文化や強みを持っているが、一方で互いにしっかりと絡み合って相乗的に機能し、学術研究から商業的な価値を引き出すことを後押ししている。

www.nature.com/nature/outlook/research-commercialization

**オープンイノベーション**

Nature Vol. 533, No. 7602 (2016年5月12日号)

競争の激しい創薬や医薬品開発の世界では、秘密保持がもう以前ほど重要ではなくなっている。新たな治療法の創出が以前より困難かつ高コストになったため、学術研究機関や製薬業界の競合各社は、共同研究および公開性の拡大が、研究のスピードや効率を上げるための方法の1つになると考え始めている。

www.nature.com/nature/outlook/open-innovation

Nature 法人向け電子ジャーナルに関するお問い合わせと無料トライアルのお申込み

Tel: 03-3267-8769 Email: sl_sales@nature.com

SCIENTIFIC DATA

この春に行われた *Scientific Data* 日本講演にご参加、ご協力をいただきました皆さまに厚く感謝いたします。今月号では、講演者の Varsha Khodiyar 博士からのレポートをお届け致します。

Scientific Data ロードショー講演ツアーを振り返って

By Varsha Khodiyar

2016年3月、*Scientific Data* は東京開催の第7回リサーチデータ・アライアンス (RDA) 総会参加、そして横浜、三島、福岡、東京、京都、神戸、筑波におけるロードショー講演ツアー開催と、日本一色でした。

これまでも RDA 総会は専門家の皆様と研究データの共有と出版について協力を進める良い機会でしたが、今回もその例外ではありませんでした。しかし RDA は徐々に分野に特化する研究者の参加を促すようになってきました。そのため東京総会は、各分野を牽引する研究者間で研究データマネジメント (RDM) にまつわる問題に関して、データシェアリングの最適な方法話し合う素晴らしい機会となりました。

各国から参加している研究者が、データシェアリングに関して、スクープ (データを利用して出し抜くこと)、保有期間、プロモーションなどを中心に、似通った関心事を持っています。一方日本では、オープン化が日本政府による「オープンサイエンス課題」の積極的促進という形で、トップダウンで開始されました。日本政府総合科学技術・イノベーション会議が日本政府内閣府によるオープンサイエンス推進を展開し、公的研究資金による研究成果 (論文、研究データ等) の利活用促進を拡大するオープンサイエンスを推奨、促進しています。幸運にも私は、内閣府オープンサイエンス検討会構成員の方々と、オープンサイエンスにおける国際的な類似点と相違点について話し合う機会を持つことができました。

日本政府による (公的に助成された研究へのオープンアクセス化と並行して) データシェアリング重視は、*Scientific Data* による研究データの共有と再利用の促進という中心的目的と相乗効果をもたらします。*Scientific Data* は上記検討会の構成員からもデータの査読プロセスや機械可読なメタデータで注目され、報告書の中でも言及していただいています。

日本政府は現存の図書館員に加えて大学リサーチ・アドミニストレーター (URA) 職の確保と育成を支援しており、これが主要な研究機関における政府のオープンサイエンス課題の実施を促しています。図書館員や URA はしばし

ば博士号取得者であり、彼らは職務として研究成果の公開に関して研究者にアドバイスすることに加え、研究所における RDM システムのデザインや実施などができるのではないのでしょうか。日本の研究機関において構築されつつある RDM システムは、研究データの長期間の管理を促進するとともに、さらに重要な役割として、再利用という目的のもと出版された研究を調査、追跡するのに必要な仕組みを提供しようとしています。

日本政府主導で行われている、協力的かつ研究者中心のインフラ構築は、研究者のデータシェアリングに対する懸念を払しょくするのに大いに役立ち、また、日本が研究のオープン化から利を得ることにつながることでしょう。

Scientific Data ロードショーにおいて各イベントを企画、開催するサポートをしてくださった多くの方々に感謝いたします。



Varsha Khodiyar 博士 (右) と
当ツアーに同行の新谷洋子
(Open Research Marketing Manager)

Dr. Varsha Khodiyar

Data Curation Editor, *Scientific Data*

データのクオリティを確証する専門エディター。*Scientific Data* に掲載されるデータ論文に付随する ISA-tab メタデータファイルの生成を担当し、データ論文とデータセットの統合を図る。ジャーナルの各編集委員、特定科学分野での専門家との協力のもと、各データ論文が該当分野の研究コミュニティで求められる最重要なデータがきちんと抽出されていることを確証する役割を担う。

英国レスター大学で博士号を受けた後、ロンドン大学にて Human Genome Nomenclature Committee (ヒトゲノム命名法委員会) に勤務。8年間遺伝学オントロジー注釈者として活躍。2014年から現職。

著者インタビュー VOL2 無料公開中!

nature microbiology

創刊号無料公開中!

www.nature.com/nmicrobiol/volumes/1/issues/1

新しいウイルスの発見をした *Nature Microbiology* 日本人著者に、発見のきっかけや、解析と実証についてお話しいただきました。このインタビューは、natureasia.com で無料公開中です。

Nature Microbiology 著者インタビュー

“ヤドカリ”と“ヤドヌシ”と呼ばれるウイルスの変わった共生関係

ウイルスはほかの生物に感染して増殖するが、その構造は、核酸とそれを包むタンパク質の外殻、キャプシドからなる至って単純なものである。しかしながら一口にウイルスといっても、形状や核酸の種類、生活環などきわめて多岐にわたる。今回、その多様性を改めて認識させられるような新たな種が2つ発見された。「ヤドカリ」と「ヤドヌシ」と命名されたこれらのウイルスは、前者が後者のキャプシドを借り受けて増殖するという、これまで報告されたことのない興味深い共生関係を営んでいる。

www.natureasia.com/ja-jp/nmicrobiol/interview/2

***Nature Microbiology* 1月号掲載論文 (期間限定無料公開中)**

類縁関係のない二本鎖RNAウイルスに宿を借りるキャプシドを持たない一本鎖RNAウイルス

A capsidless ssRNA virus hosted by an unrelated dsRNA virus

Nature Microbiology 1: 15001 | doi:10.1038/nmicrobiol.2015.1

www.nature.com/articles/nmicrobiol20151



鈴木 信弘氏

岡山大学

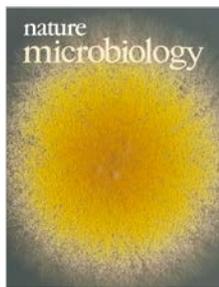
資源植物科学研究所

植物ストレス科学共同研究コア

環境生物ストレスユニット

植物・微生物相互作用グループ

教授



Volume 1 Issue 5 May 2016

***Nature Microbiology* 5月号に日本からの研究成果が掲載されました。**

微生物によって切断された免疫グロブリンは自然免疫受容体 LILRA2 によって感知される

Microbially cleaved immunoglobulins are sensed by the innate immune receptor LILRA2

Nature Microbiology 1: 16054 | doi: 10.1038/nmicrobiol.2016.54

www.nature.com/articles/nmicrobiol201654

荒瀬 尚 (大阪大学 免疫学フロンティア研究センター 免疫化学研究室)

※論文のフルテキストの閲覧には *Nature Microbiology* の購読が必要です。

アブストラクト日本語訳 全文公開中

www.natureasia.com/ja-jp/nmicrobiol/abstracts/75008

Nature Microbiology 5月号の閲覧には本誌の購読が必要です。

機関購読の見積、および法人向けサイトライセンス無料トライアルのお申し込みは、最寄りの購読代理店、もしくは弊社オンラインセールス (sl_sales@nature.com) までお問い合わせ下さい。



研究室購読 (プリント版)

ラボメンバーで
最新の科学情報を共有して
研究室全体のレベルアップと活性化に！

✓ 世界の科学ニュースが毎月届く

毎月研究室に届くので、いつでも気軽に手に取れる。手元にあるから、みんなで共有できる。

✓ 知識が広がる、視野も広がる

幅広い分野をカバーしているから、専門外の情報も自然に吸収。自分の研究だけではなく、科学を広く捉えることができる。

✓ 話題が増える、活気が生まれる

情報を共有して、科学にまつわるあれこれをみんなで意見交換すれば、研究室全体の活性化につながる！

年間購読 **¥42,000** (税抜)

大学(法人)購読*³の半額以下！
オンラインPDF*⁴も読める！

契約条件	特定研究室内での閲覧を目的とする。冊子の発送先はお申し込みいただいた研究室に限ります。大学図書館や、複数の研究室と共同によるご購入の場合には通常の法人購読価格が適用となります。
解約	お申し込み後の解約・返金はできません。
価格	2016年12月31日のお申し込み分まで有効です。

購読お申し込み

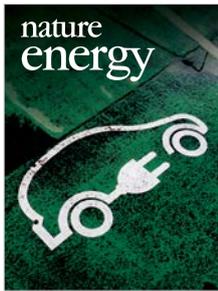
日本出版貿易株式会社 洋書部 NATURE 係

Tel: 03-3292-3755 Fax: 03-3292-8766 Email: subimp@jptco.co.jp

*³ 大学名義での契約の場合には、通常の法人購読価格 (2016年1月現在¥94,100)

*⁴ PDFはwww.nature.com/ndigestに掲載。nature.comへの登録、ユーザーID/パスワードによるログインが必要です。複数名での同時アクセスはできません。

Nature Energy おすすめコンテンツ



EyeEm/Alamy Stock Photo

Volume 1 Issue 3 March 2016



Nicky Dean
Nature Energy 編集長

編集長 Nicky Dean がおすすめするバッテリーと自動車関連コンテンツ

自動車産業大国である日本の研究者の方々にご注目いただきたい論文のセレクションを、*Nature Energy* 編集長がご紹介いたします。

硫化物系超イオン伝導体を用いた高出力全固体電池

High-power all-solid-state batteries using sulfide superionic conductors

Nature Energy 1, Article number: 16030 (2016) | doi: 10.1038/nenergy.2016.30

www.nature.com/articles/nenergy201630

加藤 祐樹 氏 (トヨタ自動車株式会社 東富士研究所 [現所属: トヨタモーターヨーロッパNV/SA])
菅野 了次 氏 (東京工業大学大学院 総合理工学研究科 物質電子化学専攻)

安定した電池アノードとしてマイクロメートルサイズのシリコン粒子の上にコンフォーマルなグラフェンケージを成長させる

Growth of conformal graphene cages on micrometre-sized silicon particles as stable battery anodes

Nature Energy 1, Article number: 15029 (2016) | doi:10.1038/nenergy.2015.29

www.nature.com/articles/nenergy201529

安全な電池のための迅速で可逆的な熱応答性ポリマースイッチング材料

Fast and reversible thermoresponsive polymer switching materials for safer batteries

Nature Energy 1, Article number: 15009 (2016) | doi:10.1038/nenergy.2015.9

www.nature.com/articles/nenergy20159

カーボンニュートラルエネルギーサイクルにおける金属有機構造体の役割

The role of metal-organic frameworks in a carbon-neutral energy cycle

Nature Energy 1, Article number: 16034 (2016) | doi:10.1038/nenergy.2016.34

www.nature.com/articles/nenergy201634

今月の Nature ダイジェスト 無料公開記事



2016 年 5 月号 「カンブリア爆発の謎に新展開」

・無料公開記事 1 : アルツハイマー病マウスで記憶が回復

アルツハイマー病の患者でも記憶を形成できることを示唆する研究結果が発表され、新たな治療への期待が膨らんできた。

・無料公開記事 2 : *Nature Microbiology* 日本人著者インタビュー

カメムシの腸内共生細菌は進化の途上

深津 武馬 氏 (産業技術総合研究所生物プロセス研究部門 首席研究員)
細川 貴弘 氏 (九州大学大学院理学研究院動態生物学講座 助教)



2016 年 6 月号 「未来をひらく虹、ナノ蛍光体」

・無料公開記事 1 : 巨大ウイルスにも CRISPR 様の「免疫系」が!

サイズからゲノムの複雑さまで、全てが規格外な「ミミウイルス」。発見以来、ウイルスの概念を覆し続けているこの巨大ウイルスで、今度は原核生物が持つ CRISPR 系に似た防御機構が見つかった。

・無料公開記事 2 : *Nature* 日本人著者インタビュー

水から高効率で酸素と電子を生む鉄触媒

岡村 将也 氏 (総合研究大学院大学博士課程。2016 年 4 月より名古屋大学大学院特任助教)

Nature ダイジェスト法人購読はプリント版、オンライン (PDF) 版でのお申し込みが可能です。法人購読についてのお問い合わせは、最寄りの購読代理店、もしくは弊社セールス担当 (sl_sales@nature.com) までご連絡ください。

スポットライト：統合のお知らせ**シュプリングラー・イーブック스에パルグレイブ・マクミランの電子ブックが加わります。**

2016年より、Palgrave Macmillanのイーブック・コレクション、Palgrave ConnectがSpringer eBook Collectionに統合され、Springer Humanities and Social Sciencesコレクションが誕生しました。この統合により、今後はシュプリングラー・イーブックスで、シュプリングラー・ネイチャー提供の電子ブックを一括管理することができます。

Springer Humanities and Social Sciencesコレクションには以下の分野の電子書籍が含まれます。

- Behavioral Science & Psychology (行動科学・心理学)
- Business and Management (ビジネス・経営)
- Economics and Finance (経済学・金融)
- Education (教育)
- History (歴史)
- Law and Criminology (法律・犯罪学)
- Literature, Cultural and Media Studies (文学、文化・メディア論) *New*
- Political Science and International Studies (政治学・国際関係) *New*
- Philosophy and Religion (宗教・哲学) *New*
- Social Sciences (社会科学) *New*



シュプリングラー・イーブック・コレクションの詳細情報は、以下の日本語ページをご参照ください。

www.springer.com/jp/products/books/springer-book-collections

電子ブック購入に関するお問い合わせ先

シュプリングラー・ネイチャー インスティテューショナル・マーケティング

Email: market@springer.jp TEL: 03-4570-6710 FAX: 03-3267-8746

ライブラリアン・ニュース ご登録のお願い

当ライブラリアン・ニュースレターは2016年2月号より、Springer Natureの出版物、およびサービスより、Nature関連情報や、図書館向け情報を抜粋してお届けしています。弊社ライブラリアン・ニュースにご登録のみなさまには、ライブラリアン・ニュースレター最新号配信のお知らせの他に、イベント開催のお知らせ、無料トライアルやディスカウントキャンペーンのお知らせ、弊社からの重要なお知らせ（プレスリリース等）を、随時メールにてお届けいたします。

ライブラリアン・ニュースご登録をご要望の方は、お名前、ご所属機関名、部署名をお書き添えの上、以下へメールにてお申込み下さい。

ご登録のお申込み先

Email: sl_sales@nature.com (担当：マーケティング 小林 真紀)

Librarian Newsletter Nature 関連アップデート 5月号 (2016年5月31日発行)

シュプリングラー・ネイチャー

インスティテューショナル・マーケティング (編集担当：小林 真紀)

〒162-0843 東京都新宿区市谷田町 2-37 千代田ビル

TEL: 03-4570-6710 / FAX: 03-3267-8746

Email: sl_sales@nature.com

SPRINGER NATURE